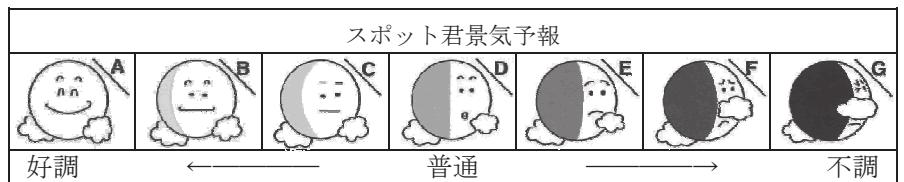
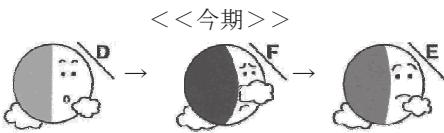


2. 目黒区内中小企業の景況（平成28年4～6月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△20.6で前期比10.5ポイント減と大幅に悪化幅が拡大した。売上額は△14.9で9.6ポイント減、収益は△16.7で7.2ポイント減と大幅に減少を強めた。資金繰りは△11.4で1.5ポイント増とやや改善した。来期の業況は5.0ポイント増の△-15.6と幾分か持ち直す見込み。

卸売業



業況は6.6ポイント減の△8.8と大幅に悪化幅が拡大した。売上額は6.8ポイント減の△5.8と大きく水面下に落ち込んだ。収益は△9.0で8.0ポイント減となり、大幅に低迷した。資金繰りは△12.5で3.1ポイント減とやや窮屈感が強まった。来期の業況は、2.6ポイント減の△11.4とやや悪化幅が拡大する見込み。

小売業



今期の業況は△20.0で0.2ポイント減と前期並みの悪化幅となり、売上額も△12.1で1.0ポイント減と前期並みの減少が続いた。収益は△17.5で6.0ポイント減と大幅に減少を強め、資金繰りは△10.7で6.0ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は、△15.9で4.1ポイント増とわずかに改善する見通し。

サービス業



今期の業況は、△13.9で1.2ポイント減と横ばい、売上額は2.2ポイント増の△14.3とやや改善した。収益は0.1ポイント増の△18.9と前期並みの低迷となり、資金繰りは、△15.9で1.1ポイント増と前期並みの苦しさとなった。来期業況は0.4ポイント増の△13.5とほぼ横ばいの見込み。

建設業



業況は10.4で1.2ポイント減とほぼ横ばいとなった。売上額は0.0で25.6ポイント減と極端に増加傾向が後退し、収益は△6.4で22.6ポイント減と、非常に大きく水面下に落ち込んだ。資金繰りは、△2.5で1.9ポイント減とやや厳しさが増した。来期の業況は7.9で2.5ポイント減とやや悪化する見通し。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

